

令和5年度 坂下中学校経営方針

2023.4.1 校長

1 学校の教育目標（めざす生徒の姿）

「自立・共生・創造」（第3次岐阜県教育ビジョン：「自立力・共生力・自己実現力」に対応）

「育てたい生徒」は、自分で

- ① 気付き、的確に判断ができる
- ② 仲間や地域に貢献ができる
- ③ より質の高いものを求めて変革ができる

判断力 <自立>
協働力 <共生>
実践力 <創造>

2 校風（めざす学校の姿）

ひたむきに歩む坂下中学校

～日常生活・授業の中で目標をもち、実現に向かってひたむきに努力する～

3 坂下中の五本柱（具現の場）

「できた！分かった！」という充実感が生まれる

「きもちがいい！」という感動が生まれる

「すがすがしい！」という爽快感が生まれる

「きれいになった！」という達成感が生まれる

「もっと読みたい！」という意欲が生まれる

「授業」

「合唱」

「あいさつ」

「掃除」

「読書」

4 合い言葉（＝常にめざす心構え・精神的なよりどころ）

「超升先輩」（将来に夢を持ち、地域社会・先輩に恥じない、今の自分を超越する生き方を求める）

5 学校経営の重点

生徒一人一人の目標を明確にし、実現に向けて努力を積み重ねることを通して、
自分のよさに自信と誇りをもてるよう意図的に指導する。

(1) 自ら求め、他と切磋琢磨する中で、確かな学力を育てる。

【学習指導部】

学習指導	一人一人が主体的に学び、豊かに表現できる力を育む学習指導
道徳指導	自己をじっくりと見つめる心と、他を深く思いやる心を育てる道徳指導
特別支援教育	一人一人のニーズを明確にし、自立に必要な力を育てる特別支援教育
進路指導	地域や社会とのつながりを意識させ、自己を生かし伸ばす進路指導
図書館教育	読書を習慣化させ、知識や深い思索を刺激し続ける図書館教育

(2) 生徒に自信と誇りをもたせ、仲間との関わりの中で自己有用感を涵養する。 【特別活動指導部】

生徒指導	共感的な理解と確かな方向付けに徹し、自己指導能力を育てる生徒指導 ←『傾聴』を大切に、生徒一人一人との関係性の構築を前提とする。
学年・学級経営	生徒一人一人のよさを価値付け、自己有用感をもたせる学年・学級経営 (人権教育の重点「互いの違いを認め、活かす」を踏まえた日常的指導)
特活指導	個の違いを認めながら、集団としてやりきった事実や努力を価値づけ、個や集団の成長を実現する特活指導 (特別支援教育の観点から大切にしたい特活指導)
生徒会活動	主体性や自治力を育て、学校や地域への誇りや愛情を育てる生徒会活動

(3)報・連・相を徹底し、生徒の安全安心、命や身体を最優先する。

【健康安全部】

健康安全	危機感と最悪事態のイメージを忘れず、生徒の笑顔を維持する健康安全指導 感染予防への意識を持ち続け、対策を継続する
教育相談	迅速かつ親身の対応を心がけ、生徒の不安や悩みに寄り添う教育相談
部活動	活動時間を生徒と共に有効に使い、連帯感と充実感を涵養する部活動
環境整備	日常的な整理整頓と清々しいレイアウト、ユニバーサルデザインの観点からの 掲示、清掃活動の充実を軸にした環境整備

(4)地域の一人としての自覚を高め、主体的な地域連携ができる人間（＝地域社会人）を育成する。

家庭地域への情報発信	HP充実 いつでも学校学級公開 独自の家庭との連携（こまめな電話連絡・井戸端懇談・通信の計画的発行）…家庭訪問と三者懇談以外の情報交流
地域貢献	かけられた期待や置かれた立場を自覚した主体性のある地域連携

6 経営の基盤（教師の在り方）

(1)特別支援教育、教育相談、生徒指導の観点を大切にする坂下中職員集団

- ①経験年数に関係なく、校務分掌においては自分がリーダーだと自覚して計画立案をする。
（願いや強い思いを基に見通しを明らかにした創意工夫ある計画の推進）
- ②報・連・相を徹底し、全ての教育活動、生徒理解（特支→教相→生指の観点）や事案の対処に組織として取り組む。特に、**初動**と事後の見届けを大切にし、共通理解を図る。
- ③全教育活動の基盤である生徒指導力、学級経営力を高める。
- ④指導部会、運営委、学年会、職員会の役割を明確にして、それぞれの効率化と充実を図る。
（職員会で学年の経営方針。予定、生徒の実態と指導のあり方を共通理解し、共通行動する。）
- ⑤生徒の成長のことを第一に考え、温かさと厳しさの両面を兼ね備えた職員集団を目指す。
（切磋琢磨できる職員集団…真のまとまりある集団へ）
- ⑥一部の職員の率先した動きを当たり前ものとし、『気付き』を大切にし、サポート・感謝の気持ちが示せるようにする。

(2)保護者や地域との信頼関係の構築

- ①「目の前にしている生徒にとってどうか」を全ての判断基準にし、生徒の安全安心、命や体を最優先する。
- ②保護者や地域からの相談や情報提供については、即日対応・確実対応を心がける。
- ③学校生活における生徒の情報を詳細に記録し、伝えるべきことは躊躇わずに保護者に提供する。
- ④地域と良好な関係を築き、（坂下中は地域に）支えられているという意識をもって指導にあたる。

7 目指す教師像

(1)教科の専門家として知識や技能を十分に有し、その本質に基づく魅力的な授業を創造できる教師

- 過去の実践の繰り返しではなく、生徒の意欲や関心を引き出す「魅力的な教材開発、指導過程や指導方法の大胆な工夫」ができる。
- 座学から脱却し、授業に動きや形態の変化を取り入れ、学習に向かう生徒たちに楽しさと勢いを与えることができる。

(2)教育のプロとしての自覚をもち、自分の姿や方法で生徒たちに生き方を示すことができる教師

- 生徒たちに「この先生はここがすごい！」と印象づけられる「武器」をもち、それを日常的に発揮することができる。
- 生徒の成長や変化を丁寧にとらえ、機を逃さず生き方を語るすることができる。

(3)大人としての責任にあふれ、子どもの安全安心、命や身体を最優先にすることができる教師

- 常に最悪の事態を想定し、「万が一」が現実になることを避けるために「手間を惜しまずに先見行動する」ことができる。
- 障害のある生徒や弱い立場の生徒に対する人間としてあるべき姿を示し、「差別や偏見を生み出さない学級・学年経営」ができる。

(4)社会人としての常識やマナーを兼ね備え、保護者や地域と信頼関係を構築することができる教師

- 温かい言葉遣いや丁寧な対応、美しい環境づくりを自ら実践し、「保護者の信頼を集める」ことができる。
- 地域の期待や故郷の尊さを強く自覚し、ボランティア活動や地域行事に主体的に参加した生徒たちの想いを捉え、意図的に価値づける。

<教師の信条>

- 信頼や期待を集める ○自分にしかない武器をもつ（「この先生はここがすごい！」）
- 「現状維持は後退」という意識を強くもつ（一工夫・一改善の視点を常にもつ）

<教師の基本>

- 「師弟同行」（姿で指導） ○「率先垂範」（意欲で指導） ○「受容と毅然」（心で指導）